

各 位

国際物流戦略チーム

平成22年度 関空物流ニュービジネスモデル促進事業の認定結果について

国際物流戦略チーム(本部長:下妻博 関西経済連合会会長)では、関西国際空港を活用した、国際物流の活性化を目的とした民間企業の取り組みを支援する「関空物流ニュービジネスモデル促進事業」の公募の結果、11月22日付けで、次の事業について認定を行いました。

(公募期間:平成22年9月1日～30日)

	事業者	事業名称	事業内容
1	アクロスジャパン(株)	中国向け「加工食品」輸出事業	中国向けに、関西産地の「加工食品」の輸出・販売を拡大するために、関空を利用した物流システムを開発し、輸出関連手続き・現地販売の側面支援を行う。
2	ANA ロジスティクスサービス(株)	中国向け鮮魚輸出モデルの開発事業	近隣漁港で水揚げされた鮮魚を関西空港～中国へ高速輸送するモデルルートを開発し、鮮度・安全性をセールスポイントとした「関空ブランド商品」として上海を中心に流通網を開拓する。
3	関空運輸(株)	アジア向け「農産物」輸出事業	現在アジアでは、日本の農産物は非常に高い評価を受けており、日本産農産物へのニーズは非常に高い。関空を拠点として日本の農産物を産地直送でアジア各国へ安定的に輸出供給し、関空の活性化は図るとともに需要の掘り起こしを行う。将来に不安を抱える農家に新しい需要を創り出し、安定して農業に取り組める環境を目指す。
4	(株)南海エクスプレス	リードタイム短縮型新商品の開発事業	これまでのエクスプレス貨物については、空港内持ち込み時間は、航空機出発の3時間前が通常であったが、更なる緊急貨物に対応するため、日本の空港では初めて、出発の20分前まで貨物を受託できるシステムを開発し、関空が緊急輸送にも対応できる空港であることをアピールする。
5	ワコン(株)	食料品輸出梱包の開発事業	関空から関西の「食」の輸出を実現するため、梱包は非常に重要な要素となる。そこで、汎用性の高い低コスト梱包資材を開発、保冷剤の選定基準を策定する。また同時に、関空島内で、小口梱包サービスを低コストで提供することを目指す。